



令和4年3月18日  
～美ら島の未来を拓く～  
沖縄総合事務局

建設業の更なる『働き方改革』を強力に推進するため、  
九州・沖縄ブロックの新たな取り組み目標を設定  
～建設業の魅力発信など～

記者発表資料

地域の守り手でもある建設産業の中長期的な担い手確保・育成に向け、発注者としても建設業の働き方改革を加速化させることは急務となっています。九州・沖縄ブロック土木部長等会議（国、県及び政令市）では、令和元年度より、働き方改革推進に向けた共通の取組目標を定め、取り組んでいるところであり、今回、令和4年度の取組目標として、以下のとおり新たに追加しました。

- 新規①：インフラDX合同研修会（国、県、政令市）の開催
- 新規②：遠隔臨場活用事例集の作成
- 新規③：建設業の魅力発信
- 継続：九州・沖縄ブロック統一現場閉所日を設定など

これらの取り組みの充実により、九州・沖縄ブロックが一丸となって、建設業の将来の担い手確保に向けた働き方改革を推進します。

令和4年3月18日  
沖縄総合事務局

記者発表
沖縄総合事務局記者クラブ

問い合わせ先	
内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部	
電話番号	098-866-0031（代表）
技術管理課 課長補佐	新城 晴伸（内線3330）
課長補佐	森山 正三（内線3283）
技術調整専門官	米須 俊彦（内線3313）
品質確保対策室 技術検査官	有銘 伸予（内線3122）

- 沖縄総合事務局では、インフラDXの推進に必要不可欠な人材育成のため、国・地方公共団体職員、民間の建設技術者等を対象に講習会・研修を実施。
- 令和3年度はBIM/CIM活用講習会(WEB)、BIM/CIM操作研修(対面)を各々2回開催。
- 来年度も継続して開催し、職員等の理解度や技術力向上を図っていく。

## BIM/CIM活用講習会(WEB)

<講習参加者>国・地方公共団体職員、民間技術者、琉球大学等 約260人

<講習内容>

- ①BIM／CIMの概要
- ②建設生産・管理の各段階におけるBIM/CIMの活用
- ③BIM/CIMに使用する3D-CADソフトウェアの概要



主催者挨拶



## BIM/CIM操作研修(対面)

<研修参加者>国・地方公共団体職員 約40人

<研修内容>

- ①V-nasClairの基本操作(3Dコマンドの基本操作)
- ②3D納品データの受領・検査
- ③3Dデータから契約図面作成
- ④BIM/CIMモデルの利活用



WEB聴講の様子



操作研修の様子

## 新型コロナウイルス対策としての非接触・リモート※(遠隔臨場)の取組み状況

○新型コロナウイルスが蔓延する状況下でも、いわゆる3密を避け現場の機能を確保するため、映像データを活用した監督検査等、対面主義にとらわれない建設現場の新たな働き方を推進。

※非接触・リモートによる現場確認

映像や音声データ等の活用により、従来は現場で行っていた施工状や材料等の確認を、机上で実施することを可能とする取り組み。

### Webカメラを活用した遠隔による現場確認

#### 【北部国道】橋梁架替工事



現場密度試験

事務所

#### 【北部国道】橋梁架替工事



材料確認

現場

#### 【南部国道】電線共同溝工事



現場密度試験

現場

#### ＜令和2年度における試行件数＞

沖縄総合事務局において5件実施

#### ＜令和3年度における試行予定件数＞

##### 【遠隔臨場】

新型コロナウイルス感染対策として試行を拡大し、実施可能な通信環境を確保できる現場においては原則実施を検討する。

1月末現在、8割強の工事で実施。

#### 【北部国道】函渠工事



ウェアラブルカメラ



配筋検査



カメラによる配信画像

現場

#### 【WEB会議】

打合せ(完了検査含む)等の実施にあたっても、利用可能なWEB会議サービスを活用する等、受発注者間で協議の上、適切に対応し、感染拡大防止と受発注者間の作業効率化を図る。

1月末現在、9割強の工事で実施。

- 民間女性技術者で構成する「teamけんせつ美ら小町（全体40人中11人参加）」と沖縄総合事務局開発建設部女性技術系職員（全体16人中11人参加）による建設業女性技術者交流会を、国際女性デーである令和4年3月8日（火）に沖縄ではじめて開催。
- 基礎工工事の現場においてインフラDX活用状況を視察するとともに、女性技術者の職場環境の課題と解決策等について意見交換を実施。
- 今回は、コロナ対策として参加人員を22人に絞り、意見交換会は屋外で5班4人で実施。
- 引き続き交流会を開催し、女性技術者の技術力向上と職場環境の改善を目指していく。



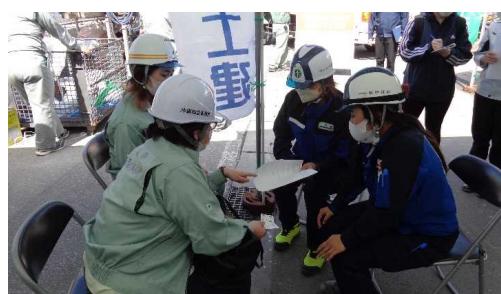
工事概要説明



VR体験



交流会集合写真



意見交換会

#### 主な意見

- ・女性技術者が増えてきたことから現場環境も改善（女性トイレ、シャワー、洗濯機等）。
- ・子供の送迎と現場の両立が課題。（朝礼、遠距離の現場）
- ・現場での苦労が聞けた。発注者として、改善すべき点がある。

○九州・沖縄ブロックにおいて、令和3年11月6日に統一現場閉所を実施に加え、沖縄県内においては、令和2年度より毎月第4土日を「現場一斉閉所日」として実施中





同時発表：沖縄総合事務局、福岡県、佐賀県、長崎県、  
熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、  
北九州市、福岡市、熊本市

令和4年3月18日  
九州地方整備局

## 記者発表資料

### 建設業の更なる『働き方改革』を強力に推進するため、 九州・沖縄ブロックの新たな取り組み目標を設定

～建設業の魅力発信など～

地域の守り手でもある建設産業の中長期的な担い手確保・育成に向け、発注者としても建設業の働き方改革を加速化させることは急務となっています。

九州・沖縄ブロック土木部長等会議（国、県及び政令市）では、令和元年度より、建設業の働き方改革推進に向けた共通の取組目標を定め取り組んでいるところであり、今回、令和4年度の取組目標として、以下のとおり新たに追加しました。

新規①：インフラDX合同研修会（国、県、政令市）の開催

新規②：遠隔臨場活用事例集の作成

新規③：建設業の魅力発信

継続：九州・沖縄ブロック統一現場閉所日を設定など

これらの取り組みの充実により、九州・沖縄ブロックが一丸となって建設業の将来の担い手確保に向けた働き方改革を推進します。

#### 本件に関する問合せ先

（合意事項全般、九州地方整備局に関する取り組みについて）

九州地方整備局企画部 技術管理課 甲斐、後田

電話番号：092-476-3546（技術管理課直通）（内線：3311, 3312）

（沖縄総合事務局に関する取り組みについて）

沖縄総合事務局開発建設部 技術管理課 新城、森山、米須  
品質確保対策室 有銘

電話番号：098-866-0031（代表）（内線：3330, 3283, 3313, 3122）

本件に関する問い合わせ先

(福岡県に関する取り組みについて)

福岡県県土整備部 企画課技術調査室 平井、犬丸  
電話番号:092-643-3644

(佐賀県に関する取り組みについて)

佐賀県県土整備部 建設・技術課 草津、鳥谷  
電話番号:0952-25-7168(建設・技術課直通)(内線:2741, 2743)

(長崎県に関する取り組みについて)

長崎県土木部 建設企画課技術基準班 柏木、椋尾  
電話番号:095-894-3025(直通)

(熊本県に関する取り組みについて)

熊本県土木部 土木技術管理課 村上、齊藤  
電話番号:096-333-2490(土木技術管理課直通)(内線:6089, 6055)

(大分県に関する取り組みについて)

大分県土木建築部 建設政策課 楠野、築地  
電話番号:097-506-4559

(宮崎県に関する取り組みについて)

宮崎県県土整備部 技術企画課 湯浅、森川  
電話番号:0985-26-7178

(鹿児島県に関する取り組みについて)

鹿児島県土木部 監理課技術管理室 藤田、諏訪  
電話番号:099-286-3515(技術管理室直通)(内線:3515, 3516)

(沖縄県に関する取り組みについて)

沖縄県土木建築部 技術・建設業課 玉城、村吉  
電話番号:098-866-2374

(北九州市に関する取り組みについて)

北九州市技術監理局 技術企画課 中川、火箱  
電話番号:093-582-2043

(福岡市に関する取り組みについて)

福岡市財政局技術監理部 技術監理課 牧野、堤  
電話番号:092-711-4844

(熊本市に関する取り組みについて)

熊本市総務局契約監理部 技術管理課 吉留、上田  
電話番号:096-328-2543

## 九州・沖縄ブロック土木部長等会議 合意事項

地域の守り手でもある建設産業の中長期的な担い手確保・育成に向け、発注者として建設業の働き方改革を加速化させることは急務である。

そのため、九州・沖縄ブロックにおける令和4年度の共通目標を以下のとおり定め、当会議メンバー相互が連携し鋭意努力する。

### 《九州・沖縄ブロックにおけるR4共通目標》

#### ■ インフラDXの普及・拡大に向けて

- ◇ 土木工事<sup>(※1)</sup>のうち、発注規模が一定規模以上の工事を「ICT活用工事」の対象<sup>(※2)</sup>とする。[対象工種：土工、舗装（新設・修繕）]
- ◇ 共通様式でICT活用証明書を発行する。
- ◇ 簡易型ICT活用工事（土工）における工事成績加点を実施する。
- ◇ **インフラDX合同研修会（国、県、政令市）を開催する。【新規①】**
- ◇ 土木工事<sup>(※1)</sup>における、「遠隔臨場活用工事」を推進する。
- ◇ **遠隔臨場活用効果事例集を作成する。【新規②】**

#### ■ 週休2日工事の普及・拡大に向けて

- ◇ 災害復旧工事以外の全ての土木工事<sup>(※1)</sup>を「週休2日工事」の対象<sup>(※3)</sup>とする。
- ◇ 共通様式で週休2日実施証明書を発行する。
- ◇ 九州・沖縄ブロックで統一現場閉所日を設定<sup>(※3)</sup>する。  
〔令和4年度は、8月27日（土）と11月12日（土）の2回を予定〕

#### ■ 工事関係書類の様式の統一化に向けて

- ◇ 土木工事における受発注者の更なる業務効率化を図るため、工事関係書類の様式の統一化を推進する。<sup>(※4)</sup>
- 〔令和3年度までに、27種類について統一様式へ移行し運用中〕

#### ■ 建設業の魅力発信の取組拡大に向けて【新規③】

- ◇ 災害時の「地域の守り手」としての活動状況や若い担い手の活動等、建設業の魅力を広報する。

※1：原則として、対象とする土木工事とは、関係者の合意が得られたものをいう。

※2：工事箇所が点在する等、ICTの活用が有効でない工事は対象外とできる。

※3：供用を控える等工期に制約がある工事や小規模工事等短期間に完了する工事、及び災害復旧工事等緊急を要する場合は対象外とできる。

※4：各機関固有の取り組みのための様式（例えば「県産品の使用状況」等）の使用は妨げないが、簡素化に取り組むこととする。

# 【新規①】インフラDXの普及・拡大に向けて

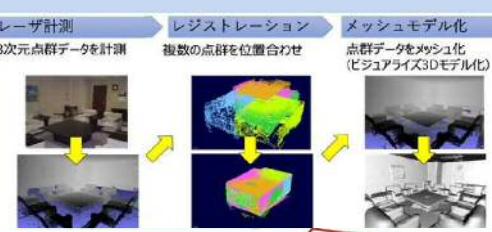
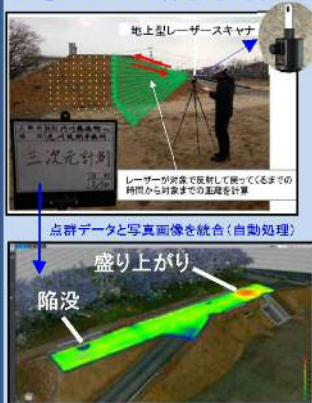
## インフラDX合同研修会(国、県、政令市)を開催する。

### (参考)研修会事例

#### ■ 九州インフラDX人材育成センター<九州技術事務所>

##### ①3D計測機器を活用した測量研修体験

(3次元点群計測を自ら実際にを行い、3D計測の原理や特性、利活用シーン等について体験する)



計測からメッシュモデル生成までの一連の処理をほぼ自動化

河川堤防での活用例)

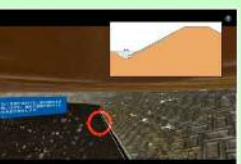
- ・計測結果をタブレットで合成処理することで、天端道路上の変状を可視化でき、また、法面の横断形状を自由に抽出したり、横断面積、及び延長の計測が可能となる

##### ②河川堤防点検VRを使用した河川維持管理研修体験

(変状が再現された河川堤防の点検や、破堤の仕組み、変状発生機構を再現したVRを体験する)



HMDを着用し、シミュレーターを用いて体験



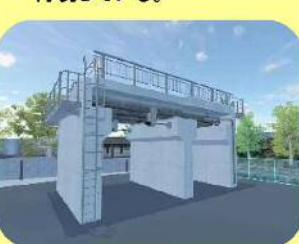
##### ③橋梁メンテナンスVRを使用した道路維持管理研修体験

(コンクリート橋の維持管理(メンテナンス)のポイントや不具合事象を再現したVRを体験する)

HMDとサーバーシューズを着用



橋梁実モデルをVRで再現。様々な劣化、不具合事象を再現している。



信伏期



劣化期



崩壊期

- 点検コンテンツ例)
- ・コンクリート橋の点検をシミュレータを用いて体験
  - ・変状と劣化、中性化や塩害などの事象を学習

##### ④無人化施工シミュレータを使用したバックホウ操作体験

(無人化施工に使用する実際のコントローラを使用し、VRシミュレータを用いてバックホウの操作を体験する)

左右の操作レバーを操作して、フロント部の試運転を行って下さい。



## 各機関で開催するインフラDXに関する研修予定（ICT、遠隔臨場等）

取組内容	
九州地方整備局	<ul style="list-style-type: none"> <li>3D計測機器を活用した測量研修</li> <li>VRを使用した道路や河川の維持管理研修</li> </ul>
沖縄総合事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT施工現場講習会</li> <li>BIM/CIM活用講習会</li> </ul>
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフラDXに関する研修</li> <li>ICTや遠隔臨場の活用事例を交えた受発注者向けの研修</li> </ul>
佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> <li>受発注者向けのICT活用に関する研修会</li> <li>発注者向けのドローン操作研修</li> </ul>
長崎県	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営者等向けのICT/DXを活用した生産性向上セミナー</li> <li>受発注者向けのICT土工現場見学会</li> <li>発注者向けのドローン研修</li> </ul>
熊本県	<ul style="list-style-type: none"> <li>i-Constructionの概要及び3次元データ活用についての研修（発注者・受注者）</li> <li>ICT施工現場見学会（発注者・受注者）</li> <li>遠隔臨場の操作研修（発注者・受注者）</li> </ul>
大分県	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT活用に関する研修会</li> <li>3次元データの図面作成及びICT建機に関する現場研修</li> </ul>
宮崎県	<ul style="list-style-type: none"> <li>3次元設計データ作成やICTバックホウ体験試乗など実践的な建設ICT研修の実施</li> </ul>
鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設技術者研修会（ICT活用工事、遠隔臨場、情報共有システム（ASP））</li> <li>i-Construction研修（ICT活用工事）</li> </ul>
沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT施工技術者支援者育成講習会を受注者、発注者合同で開催予定。</li> </ul>
北九州市	<ul style="list-style-type: none"> <li>i-Construction研修（ICT施工についてオンライン及び実地で研修を行う。）</li> <li>受発注者間情報共有システム（ASP）研修</li> <li>BIM/CIM研修</li> <li>遠隔臨場研修</li> </ul>
福岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフラDXに関する研修等</li> </ul>
熊本市	<ul style="list-style-type: none"> <li>受注者への本市のICTの取り組み状況の説明会（外部研修）</li> <li>新採、若手職員を対象とした情報共有システムの研修（内部研修）</li> </ul>

※上表は、公表時点の予定であり、今後変更される可能性があります。

遠隔臨場工事の更なる普及・拡大に向けて、遠隔臨場活用効果事例集を作成する。

(参考)遠隔臨場活用効果事例

熊本県阿蘇市

熊本57号滝室坂トンネル西新設（一期）工事

〈試行工事概要〉

工期	H30.4.2～R3.3.31
試行期間	H31.2.15～R2.12.18
工事内容 (主工種)	トンネル（NATM） 工事延長本坑 L=1,030m 避難坑 L=1,752m 掘削補助工 一式 仮設工 一式
事務所	熊本河川国道事務所
受注者	清水・東急・森特定建設共同企業体



【立会状況（現場側）】



【会議用スピーカーの設置（現場側）】



【立会状況（監督側）【事務所】】



【遠隔臨場用の坑内Wi-Fiの設置（現場側）】

〈試行内容〉

映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配 信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
<p>「記録」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>TOUGH PAD (Panasonic FZ-M1)</li> <li>Yamaha会議用スピーカー</li> <li>「配信」</li> <li>遠隔会議システム（演算工房社製）</li> </ul>	・トンネル切羽判定	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議用スピーカーを設置することで、説明者以外の現場立会者全員にも会話が伝わるようにした。（当初は説明者がヘッドホンで会話）</li> </ul>

●施工者（受注者）

〈効果〉

- 特に切羽判定では、切羽の地山を素掘状態で判定するため、遠隔臨場することで待機時間等のロスを減らし時短につながっている。
- 不安定な状態を最小限に抑えられ、安全面にも寄与している。

〈課題〉

- 通信環境を都度チェックする必要がある。
- 遠隔臨場時の画像、音声不具合が不安定な場合がある。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- 事務所にいながら、トンネルの岩判定委員会に参加が可能であり、現場臨場の確認行為の負担軽減となった。
- コロナ禍において、現場で密になることなく、遠隔で各々PCから確認でき、また在宅勤務中においても確認行為が可能となった。

〈課題〉

- トンネル坑内のため、通信環境及び照明環境が整備されていなければ使用不可。
- 岩質や亀裂の状況など細やかな判断を要する箇所については、肉眼での判断と画像を通しての判断に差があり、判断の難しさがある。

●使用期間・費用

〈使用期間〉22ヶ月 〈費用〉320,000円／月（導入費は含まない）

●移動時間の削減（片道）

移動距離 L=52km、移動時間 t=75分  
遠隔臨場回数 34回

地域の守り手である建設産業の担い手確保のため、建設業の魅力発信の取り組みを拡大する。

## (参考)魅力発信の事例

## ■ 建設業の若手の活躍についての「パネル展示会」を開催

## ＜大分県建設業協会青年部会と大分河川国道事務所の共催＞



## ■ 実際の現地で土木作業の体験を通じた“子ども向け”現場体験イベントの開催

＜長崎河川国道事務所「ワクワクドギドキ驚き土木体験イベント」のり面にシニルバズーカをぶっ放せ!!＞



[樽の応援チーム“デミーとマツ”、施工業者、事務所によるイベントチラシ]



## [事務所職員によるダムの仕組み説明]



## [事務所職員によるダムの仕組み説明]



「主任技術者による事業説明」



## [実際の作業員によるソイルバズー力体験]



等額で対応する重機オペレータ】

## 建設業の魅力発信の取り組み予定

取組内容	
九州地方整備局	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際の現地で土木作業の体験を通じた現場体験イベントを開催</li> <li>災害時の建設業者の活躍をテーマとしたパネル展示会を開催</li> <li>建設業の魅力を整備局のホームページで発信</li> </ul>
沖縄総合事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄総合事務局での「子ども見学デー」に災害対策用機械の展示紹介</li> <li>技術力向上と働きやすい環境づくりを目指した、官民の建設業女性技術者交流会を開催</li> <li>道の駅にて沖縄本土復帰50年にあわせた「国道の変遷」を紹介するパネル展示会を開催</li> </ul>
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月18日の「土木の日」など、建設業の魅力を伝えるパネル展示会の開催</li> <li>建設現場やインフラ施設（ダムなど）の見学会など小中学生の積極的な受け入れ</li> <li>ふくおかインターネットテレビ等によるインフラの魅力を伝える動画の配信</li> </ul>
佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設業界との意見交換会及び建設業の基礎講座・体験会を開催（対象：小・中・高校生）</li> <li>建設業の合同企業説明会を開催（対象：土木・建築系高校2年生）</li> <li>工事現場見学会を開催（対象：土木・建築系高校2年生及び小学生の親子）</li> <li>ICT施工の講習会及び施工体験会を開催（対象：土木・建築系高校1年生）</li> <li>建設業のPR動画による魅力発信（TV、YouTubeなど）</li> <li>「SAGA建設技術フェア」（佐賀県建設技術支援機構主催）にて県職員女性技術者、若手技術者が発表</li> </ul>
長崎県	<ul style="list-style-type: none"> <li>「土木の日」のイベント（パネル展・現場見学会）等を通じて、建設業の魅力を伝える「1万人工木・建築体験プロジェクト」を実施</li> <li>県内建設業の魅力を伝える動画（R2制作）をSNS等のデジタルメディアを通じて配信</li> <li>県内建設業の魅力と共に就職関連情報も同時に発信するサイトを開設</li> <li>地域で活躍する建設従事者への密着取材等を実施し、上記サイトで発信</li> </ul>
熊本県	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設関連広報の実施（小中学生を対象に体験型イベントの実施や広報誌の発行等）</li> <li>工事現場見学会の実施（小中学生を対象に工事見学会（バスツアー）を開催）</li> <li>工業高校オープンキャンパスの支援（中学生を対象に重機やドローンシミュレーターを使い操作体験を実施）</li> <li>建設産業がいだんの実施（工業高校生を対象に若手技術者等の講話や各団体の業界説明等）</li> <li>「建設企業魅力発見フェア」の開催（高校3年生、求職者等に県内企業の魅力や情報を発信）</li> <li>「土木の日」絵画・写真コンクール</li> </ul>
大分県	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内各地域の学生（小、中、高校生）を対象に現場見学会や出前講座を実施</li> <li>災害現場をモデルとしたVR教材を作成し、出前講座や研修に活用</li> <li>親子向けの「土木、建築おしごと教室」体験講座を実施</li> </ul>
宮崎県	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストック効果事例集を作成し、インフラ整備の重要性を広く周知</li> <li>出前講座や土木作業の体験学習などによるPRイベントの実施</li> </ul>
鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業体験や模型実験を取り入れた“ふれあい型”的現場見学及び出前講座を開催</li> <li>建設工事やインフラ施設をテーマにしたフォトコンテスト及びパネル展を開催</li> <li>県内高校生等を対象とした合同企業説明会や就職応援キャラバンを開催</li> </ul>
沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内の建設現場を親子で見学・体験するバスツアーを開催</li> <li>若者をメインターゲットにした建設業の魅力を伝える動画を作成</li> <li>建設業の魅力を伝える展示・体験イベントへの出展</li> </ul>
北九州市	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業体験型イベント「北九州ゆめみらいワーク」に建設業体験ブースを出展</li> <li>地元建設業界で活躍する若者・女性の姿をウェブサイト「ケンセツ男子・ケンセツ女子」でPR</li> </ul>
福岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>市のインフラに関する情報のパネルを作成し展示</li> <li>学生を対象に、技術職員が実際に働いている職場や担当する工事現場を見学する職場見学会を実施</li> <li>SNSを通じて道路や下水道などの事業に関する取組みについて情報発信</li> </ul>
熊本市	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連団体と協働で行う土木の日実行委員会主催の「親子で行く土木に親しむバスツアー」を実施</li> <li>県内外における高校、大学等へのリクルート活動（出前講座、オンライン講座の開催）</li> <li>技術職員が働く現場の様子や仕事の魅力を肌で感じることができる現場見学ツアーの開催</li> <li>インスタグラムを活用した魅力の発信や、オリジナルポスターの作成</li> </ul>

※上表は、公表時点の予定であり、今後変更される可能性があります。

令和4年度は8月27日(土)・11月12日(土)を統一現場閉所日に設定



【令和4年度の九州・沖縄ブロック統一ポスター】

## 【統一現場閉所日の設定状況】

	R 2	R 3	R 4 予定
九州・沖縄ブロック	—	11月6日(土)	8月27日(土) 11月12日(土)
福岡県	11月14日(土)	11月6日(土)	8月27日(土) 11月12日(土)
佐賀県	8月8日(土)	6・7・8月第4土曜日	毎月第4土曜日
長崎県	毎月第2第4土・日曜日	毎月第2第4土・日曜日	毎月第2第4土・日曜日
熊本県	8月8日(土) ※災害により中止	11月6日(土)	8月27日(土) 11月12日(土)
大分県	毎月第2土曜日	11月6日(土)	8月27日(土) 11月12日(土)
宮崎県	毎月第2土曜日	毎月第2・第4土曜日	毎月第2・第4土曜日
鹿児島県	11月14日(土)	毎月第4土曜日	毎月第2・第4土曜日
沖縄県	毎月第4土・日曜日	毎月第4土・日曜日	毎月第4土・日曜日

## 【関係機関】

国：九州地方整備局、沖縄総合事務局  
県：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県  
政令市：北九州市、福岡市、熊本市

## 【ポスターの掲載場所】

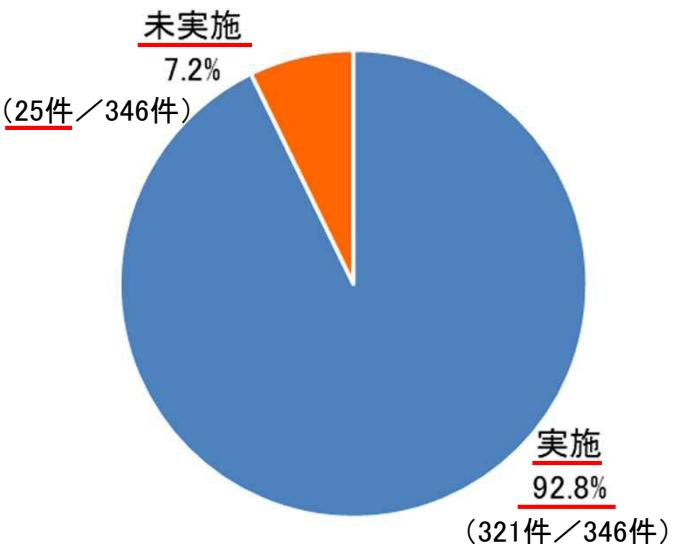
- 各機関の関連施設（庁舎・道の駅等）
- 施工中の工事現場
- 各県建設業協会など

- 令和3年11月6日のブロック統一現場閉所に関して、受注業者の現場代理人等にアンケートを実施し、協力いただいた工事(346件)のうち、321件の工事で現場閉所を実施。

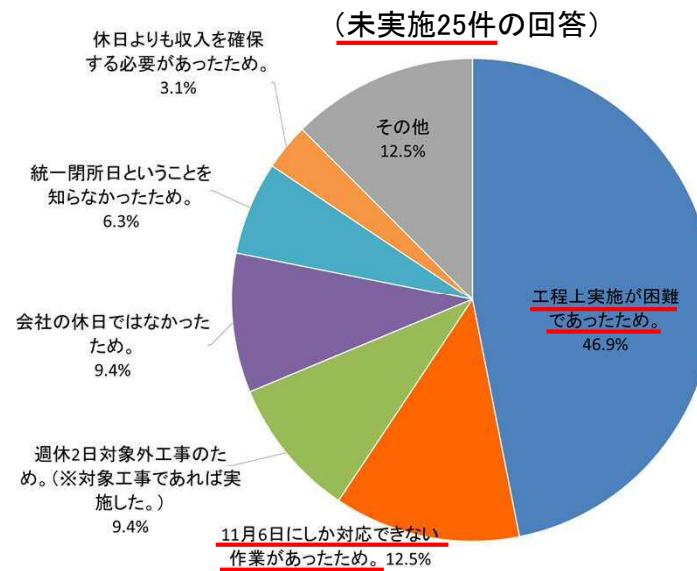
**【実施率：92.8%】**

- 今回未実施の現場(25件)は、主に工程上や作業上の理由で閉所ができなかった。
- 『働きやすい職場環境をつくることができる』『休暇をとる良いきっかけになった』『今後も継続して実施してほしい』といった良い意見が多くったが、『余裕のある工期設定でないと週休2日の取り組みは厳しい』『日給制など給与が減ってしまう人への対応が必要』『民間工事への取り組み拡大が必要』などの課題も上げられた。
- 『来年度以降は回数を増やして欲しい』という意見もあった中で、令和4年度以降の実施頻度の希望は“**年2回**”が最も多かった。

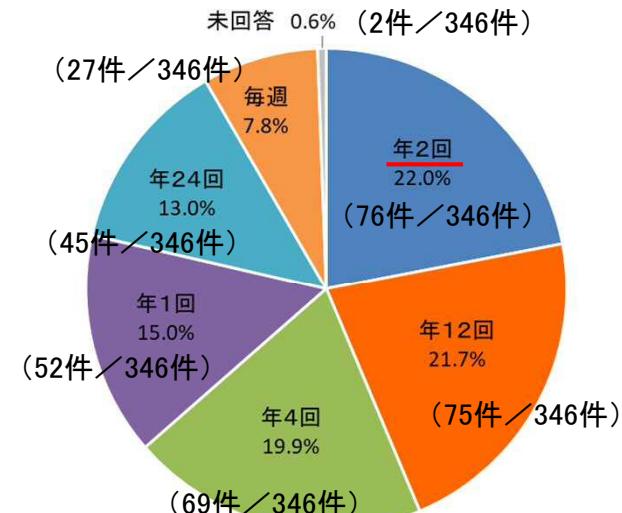
統一現場閉所の実施率



未実施の理由(複数選択可)



R4以降の実施頻度



## 令和4年度における「ICT活用工事（土工）」の対象工事について

対象工事		発注方式
九州地方整備局	土工を含む工事（全て）	発注者指定型：0.6億円以上かつ10,000m <sup>3</sup> 以上 受注者希望型：上記以外
沖縄総合事務局	土工を含む工事（全て）	発注者指定型：2,000m <sup>3</sup> 以上 受注者希望型：2,000m <sup>3</sup> 未満
福岡県	土工を含む工事（全て）	発注者指定型：10,000m <sup>3</sup> 以上 受注者希望型：10,000m <sup>3</sup> 未満
佐賀県	土工を含む工事（全て）	発注者指定型：10,000m <sup>3</sup> 以上 受注者希望型：10,000m <sup>3</sup> 未満
長崎県	土工を含む工事（1,000m <sup>3</sup> 以上）	発注者指定型：10,000m <sup>3</sup> 以上 受注者希望型：1,000m <sup>3</sup> 以上、10,000m <sup>3</sup> 未満
熊本県	土工を含む工事（1,000m <sup>3</sup> 以上）	発注者指定型：10,000m <sup>3</sup> 以上 受注者希望型：1,000m <sup>3</sup> 以上、10,000m <sup>3</sup> 未満
大分県	土工を含む工事（1,000m <sup>3</sup> 以上）	発注者指定型：5,000m <sup>3</sup> 以上 受注者希望型：1,000m <sup>3</sup> 以上
宮崎県	土工を含む工事（全て）	発注者指定型：7,000m <sup>3</sup> 以上 受注者希望型：7,000m <sup>3</sup> 未満
鹿児島県	土工を含む工事（全て）	受注者希望型 ※10,000m <sup>3</sup> 以上の一 部の工事を発注者指定型
沖縄県	土工を含む工事（全て）	発注者指定型：10,000m <sup>3</sup> 以上 受注者希望型：10,000m <sup>3</sup> 未満
北九州市	土工を含む工事（1,000m <sup>3</sup> 以上）	受注者希望型
福岡市	土工を含む工事（1,000m <sup>3</sup> 以上）	受注者希望型
熊本市	土工を含む工事（1,000m <sup>3</sup> 以上）	受注者希望型

※上表は、公表時点の予定であり、今後変更される可能性があります。

※上表は、土木工事についてまとめたものであり、土木工事以外の工事で個々の取組を行う場合があります。

## 令和4年度における「ICT活用工事（舗装：新設・修繕）」の対象工事について

対象工事		発注方式
九州地方整備局	舗装工を含む工事（全て）	新設：発注者指定型（3億円以上） ：施工者希望型（3億円未満） 修繕：施工者希望型
沖縄総合事務局	舗装工を含む工事（全て）	発注者指定型：3,000m <sup>2</sup> 以上 受注者希望型：3,000m <sup>2</sup> 未満
福岡県	舗装工を含む工事（全て）	受注者希望型
佐賀県	舗装工を含む工事（全て）	受注者希望型
長崎県	舗装工を含む工事（1,000m <sup>3</sup> 以上）	発注者指定型：5千万円以上かつ5,000m <sup>2</sup> 以上 受注者希望型：1千万円以上5千万円未満かつ5,000m <sup>2</sup> 未満
熊本県	舗装工を含む工事（全て）	受注者希望型
大分県	舗装工を含む工事（1,000m <sup>3</sup> 以上）	受注者希望型
宮崎県	舗装工を含む工事（全て）	発注者指定型：10,000m <sup>2</sup> 以上 受注者希望型：10,000m <sup>2</sup> 未満
鹿児島県	舗装工を含む工事（全て）	受注者希望型
沖縄県	舗装工を含む工事（全て）	発注者指定型：3,000m <sup>2</sup> 以上 受注者希望型：3,000m <sup>2</sup> 未満
北九州市	舗装工を含む工事（1,000m <sup>3</sup> 以上）	受注者希望型
福岡市	舗装工を含む工事（全て）	受注者希望型
熊本市	舗装工を含む工事（全て）	受注者希望型：3,000m <sup>2</sup> 以上かつAクラス以上 （一般土木、舗装）

※上表は、公表時点の予定であり、今後変更される可能性があります。

※上表は、土木工事についてまとめたものであり、土木工事以外の工事で個々の取組を行う場合があります。

令和〇〇年〇月〇日

株式会社〇〇

〇〇 〇〇 殿

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇 〇〇 印

## I C T 活用証明書

下記工事について、ICTの実施を証明する。

工 事 名 : 〇〇地区道路改良工事  
工 期 : 令和〇〇年〇月〇日～令和〇〇年〇月〇日  
完 成 年 月 日 : 令和〇〇年〇月〇日

### I C T 実施内容（実施した内容に、■を附している）

- 3次元起工測量
- 3次元設計データ作成
  - (□ : 3次元設計データを発注者が貸与)
- ICT建機による施工（実施工種：〇〇工、〇〇工）
- 3次元出来形管理等の施工管理（実施工種：〇〇工、〇〇工）
- 3次元データの納品（実施工種：〇〇工、〇〇工）

※朱書きは、R3合意事項からの見直し箇所

## 令和4年度における簡易型ICT活用工事（土工）の工事成績加点について

機関名	簡易型ICT活用工事					備考
	① 3次元起工測量	② 3次元設計データ作成	③ ICT建設機械による施工	④ 3次元出来形管理等の施工管理	⑤ 3次元データの納品	
九州地方整備局	選択可能	必須	選択可能	必須	必須	全てを実施した場合又は必須項目を実施した場合に加点
沖縄総合事務局	選択可能	必須	選択可能	必須	必須	全てを実施した場合又は必須項目を実施した場合に加点
福岡県	選択可能	必須	選択可能 ※③又は(④+⑤)のいずれかを必ず選択	選択可能 ※③又は(④+⑤)のいずれかを必ず選択	選択可能 ※③又は(④+⑤)のいずれかを必ず選択	全てを実施した場合又は必須項目+αを実施した場合に加点
佐賀県	選択可能	必須	選択可能	必須	必須	全てを実施した場合又は必須項目を実施した場合に加点
長崎県	選択可能	必須	選択可能	必須	必須	全てを実施した場合又は必須項目を実施した場合に加点
熊本県	選択可能	必須	選択可能 ※③④のいずれかを必ず選択	選択可能 ※③④のいずれかを必ず選択	必須	全てを実施した場合又は必須項目+αを実施した場合に加点
大分県	選択可能	必須	選択可能	必須	必須	全てを実施した場合又は必須項目を実施した場合に加点
宮崎県	選択可能	必須	選択可能	必須	必須	全てを実施した場合又は必須項目を実施した場合に加点
鹿児島県	選択可能	必須	選択可能	必須	必須	全てを実施した場合又は必須項目を実施した場合に加点
沖縄県	選択可能	必須	選択可能	選択可能	必須	全てを実施した場合又は必須項目を実施した場合に加点
北九州市	選択可能	必須	選択可能	必須	必須	全てを実施した場合又は必須項目を実施した場合に加点
福岡市	選択可能	選択可能	選択可能	選択可能	選択可能	全てを実施した場合又は一部の項目を実施した場合に加点
熊本市	選択可能	必須	選択可能	必須	必須	全てを実施した場合又は必須項目を実施した場合に加点

※上表は、公表時点の予定であり、今後変更される可能性があります。

※上表は、土木工事についてまとめたものであり、土木工事以外の工事で個々の取組を行う場合があります。

## 令和4年度における「遠隔臨場活用工事」の対象工事について

	対象工事	発注方式	備考
九州地方整備局	全ての工事	発注者指定型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試行にかかる費用：発注者負担</li> <li>・実施しない時のペナルティー：なし</li> </ul>
沖縄総合事務局	全ての工事	発注者指定型、受注者希望型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試行にかかる費用負担：発注者指定型（発注者負担） 受注者希望型（受注者負担）</li> <li>・実施しない時のペナルティー：なし</li> </ul>
福岡県	全ての工事	受注者希望型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試行にかかる費用負担：受注者負担（コロナ対策として実施すれば発注者負担）</li> <li>・実施しない時のペナルティー：なし</li> </ul>
佐賀県	全ての工事	発注者指定型、受注者希望型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試行にかかる費用負担：発注者指定型（発注者負担） 受注者希望型（受注者負担、コロナ対策として実施すれば発注者負担）</li> <li>・実施しない時のペナルティー：なし</li> </ul>
長崎県	全ての工事	発注者指定型、受注者希望型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試行にかかる費用負担：発注者負担</li> <li>・実施しない時のペナルティー：なし</li> </ul>
熊本県	全ての工事	受注者希望型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試行にかかる費用負担：受注者負担（コロナ対策として実施すれば発注者負担）</li> <li>・実施しない時のペナルティー：なし</li> </ul>
大分県	全ての工事	受発注者協議により適用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試行にかかる費用負担：発注者負担（コロナ対策費として計上）</li> <li>・実施しない時のペナルティー：なし</li> </ul>
宮崎県	全ての工事	受発注者協議により適用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試行にかかる費用負担：発注者負担</li> <li>・実施しない時のペナルティー：なし</li> </ul>
鹿児島県	全ての工事	受発注者協議により適用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試行にかかる費用負担：受注者負担（コロナ対策として実施すれば発注者負担）</li> <li>・実施しない時のペナルティー：なし</li> </ul>
沖縄県	全ての工事	受注者希望型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試行にかかる費用負担：受注者負担</li> <li>・実施しない時のペナルティー：なし</li> </ul>
北九州市	全ての工事	受注者希望型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試行にかかる費用負担：受発注者双方で負担</li> <li>・実施しない時のペナルティー：なし</li> </ul>
福岡市	全ての工事	受発注者協議により適用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試行にかかる費用負担：発注者と受注者がそれぞれ負担</li> <li>・実施しない時のペナルティー：なし</li> </ul>
熊本市	全ての工事	受注者希望型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試行にかかる費用負担：受注者負担</li> <li>・実施しない時のペナルティー：なし</li> </ul>

※上表は、公表時点の予定であり、今後変更される可能性があります。

※上表は、土木工事についてまとめたものであり、土木工事以外の工事で個々の取組を行う場合があります。

※朱書きは、R3合意事項からの見直し箇所

## 令和4年度における「週休2日工事」の対象工事について

	対象工事	発注方式
九州地方整備局	全ての工事	発注者指定型 (70%目標) 受注者希望型
沖縄総合事務局	全ての工事	発注者指定型 (90%目標)
福岡県	全ての工事	受注者希望型
佐賀県	全ての工事	受注者希望型
長崎県	全ての工事	受注者希望型
熊本県	全ての工事	受注者希望型
大分県	全ての工事	受注者希望型
宮崎県	全ての工事	発注者指定型 (30%目標) 受注者希望型
鹿児島県	全ての工事	受注者希望型
沖縄県	全ての工事	発注者指定型
北九州市	全ての工事	受注者希望型
福岡市	全ての工事	受注者希望型
熊本市	全ての工事	受注者希望型

※上表は、公表時点の予定であり、今後変更される可能性があります。

※上表は、土木工事についてまとめたものであり、土木工事以外の工事で個々の取組を行う場合があります。

## 共通様式（週休2日活用証明書）

令和〇〇年〇月〇日

株式会社〇〇

〇〇 〇〇 殿

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇 〇〇 印

### 週休2日実施証明書

下記工事について、週休2日の実施を証明する。

工 事 名 : 〇〇地区道路改良工事  
工 期 : 令和〇〇年〇月〇日～令和〇〇年〇月〇日  
完 成 年 月 日 : 令和〇〇年〇月〇日

週休2日実施内容（実施した内容に■を附している）

- 4週8休を達成した。
- 4週7休を達成した。
- 4週6休を達成した。

## 令和4年度における「工事関係書類の統一化」の対象書類について

様式番号	書類名称等	統一化の対象
様式-1	現場代理人等通知書	
様式-1(2)	経歴書	
様式-1(3)	現場代理人等変更通知書	
様式-2	請負代金内訳書	
様式-3(1)	工程表	○
様式-3(2)	変更工程表	○
様式-4	建設業退職金共済制度の掛金収納書	○
様式-5	請求書(前払金, 中間前払金, 指定部分完済払金, 部分払金, 完成代金)	
様式-5(2)	請求内訳書(部分払)	○
様式-5(3)	請求内訳書(国債部分払)	○
様式-5(4)	請求内訳書(指定部分払)	○
様式-6(1)	VE提案書(契約後VE時)	○
様式-6(2)	VE提案書(契約後VE時)	○
様式-6(3)	VE提案書(契約後VE時)	○
様式-6(4)	VE提案書(契約後VE時)	○
様式-7	品質証明員通知書	○
様式-9	工事打合せ簿(指示, 協議, 承諾, 提出, 報告, 通知)	○
様式-10	材料確認書	○
様式-11	段階確認書	
様式-12	確認・立会依頼書	○
様式-13	工事事故速報	
様式-14	工事履行報告書	○
様式-15	認定請求書	
様式-16	指定部分完成通知書	
様式-17	指定部分引渡書	○
様式-18	工事出来高内訳書	
様式-19	請負工事既済部分検査請求書	
様式-21	修補完了届	
様式-22	部分使用承諾書	
様式-23	工期延期届	
様式-24	支給品受領書	○
様式-25	支給品精算書	○
様式-26	建設機械使用実績報告書	○
様式-27	建設機械借用・返納書	○
様式-28	現場発生品調書	○
様式-29	完成通知書	
様式-30	引渡書	
様式-31	出来形管理図表	○
様式-31-2	出来形合否判定総括表	○
様式-32	品質管理図表	○
様式-33	品質証明書	○
様式-34(1)	創意工夫・社会性等に関する実施状況(説明資料)	○
様式-34(2)	創意工夫・社会性等に関する実施状況(説明資料)	○

※上表は、国土交通省が定める「工事関係書類の標準様式」の一覧であり、そのうち「統一化の対象」が○の様式について、今般、九州・沖縄ブロックで統一様式として運用を図ることを決定したので、国・県・政令市ごとにそれ以外の様式を用いる場合があります。

※統一された様式は、以下のホームページにて掲載しています。

([http://www.qsr.mlit.go.jp/for\\_company/koujisyorui.html](http://www.qsr.mlit.go.jp/for_company/koujisyorui.html))

※上表は、土木工事についてまとめたものであり、土木工事以外の工事で個々の取組を行う場合があります。